



ペンギんぐみだより

3月



最近の子どもたちの様子

先日は大きな舞台でのお楽しみ会を終えて子どもたちもまたひとつ大きくなった印象です。当日の演技ももちろん、そこに至るまでに「本番まで内緒にしようね」「腕は大きく回すとかっこいい！」など、保育者がただ教えて覚えていくだけではない姿が沢山ありました。

日々の生活の中にも保育者が手伝える事はほとんど無くなり、身の回りの事だけでなく友だちの事や保育者の様子を見て手伝えるといった事も出来るようになりました。そういった小さな事が4月から色々な事を学んできたんだな、と感じさせてくれます。食事の準備、着替え、週末のシーツ外し、ジャンパーのチャック等、出来る事が増えましたね。

クラスでは複数の玩具を組み合わせる遊び姿が多くなりました。ブロック・積み木・ピタゴラスを混ぜて大きな建物と中に入るロボットを作る男の子、柄の入った折り紙と色鉛筆とテープで小物入れやステッキを作る女の子といった具合に様々な物を組み合わせる自分の納得いく作品を作っています。指先も随分器用になってきました。

数字や文字も読めるようになり、公園で遊んでいると「先生！長い針が3（集まる予定の15分）になったのに帰るよって言わないの!？」と言われてしまうくらい、時間やルールも身に付いてきたペンギん組です。

2020年3月2日 保土ヶ谷保育

ペンギん組担任

もう泣かない…?

2月3日は節分集会有りました。みんな乳児の時は泣いちゃった…と話すも「もうペンギん組だから泣かない!」と気合は十分な様子。…だったのですがその後ろから大人の鬼が来ると子どもたちの顔から笑顔が消え、みんな真顔で豆がわりのカラーボールを投げつけていました。泣いてしまった子も泣きながらボールを投げたり、平気な子は泣いた子をかばってあげたりとそれぞれの精一杯で豆まきをしました。

その日はいつも気にしない園舎工事の音も「また鬼が来たのかな!？」と気にする姿もありましたが「でも赤鬼は〇〇先生だよー」と中の人(?)を知っている子もいて、思い思いに節分を楽しむことができた様子でした。

来年こそはみんな泣かずに豆まきはできるかな…!?



今月の活動

- ・進級に期待を持ち、身の回りの事や生活の流れを確認し合いながら自信に繋げていく。
- ・季節の変化に気づき春の自然に興味関心をもつ。
- ・お別れ遠足や移行保育などを通して進級への期待や楽しみを感じる。



1年を振り返って

子どもたちと毎日にぎやかにとても楽しく過ごすことが出来た一年でした。ぱんだ組になり、どんな成長を見せてくれるのかとても楽しみにしています。

あひる組だった頃を知っているというのがありますが、日々成長していく姿を1年間すぐ近くで見られたことをとても嬉しく思います。

保護者の皆様には、いろいろとご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。



※懇談会について※

3月7日(土)に懇談会を予定しておりましたが懇談会は新型コロナウイルスの感染防止のため中止とさせていただきます。当日配布予定だったレジュメ等は3月2日に配付させていただきます。お忙しいところ日程を調節して頂き申し訳ありませんが、ご理解の程よろしくお願ひいたします。

